

・ 海外感染症流行情報 (2014 年 4 月)

東京医科大学病院 渡航者医療センター

・ 中東で MERS 患者数が増加

3 月中旬以降、中東で MERS コロナウイルス感染症の患者数が急増しています。サウジアラビアではジェッダを中心に 4 月だけで 20 人の患者が発生しており (WHO Global Alert and Response 2014-4-10, 14)、アラブ首長国連邦でもアブダビなどで患者数が 30 人にのぼっています (WHO Global Alert and Response 2014-4-16, 17, 23, 26)。大多数は医療機関での集団感染が原因になっていますが、感染経路が不明な患者もみられます。こうした患者数の増加は、季節性の要因や (毎年 3 月~4 月に増加する)、診断方法が向上したためと考えられています。さらに、ウイルスがヒトに感染しやすくなっている可能性もありますが、現時点で WHO はそれを否定しています (WHO Global Alert and Response 2014-4-24)。ジェッダやアブダビには日本からの派遣者が数多く滞在しており、ラクダなどの動物に接触することや、呼吸器症状のある患者に無防備に近づかないように注意する必要があります。

なお、4 月中旬にマレーシアで 50 歳代男性が MERS により死亡しました (WHO Global Alert and Response 2014-4-17)。この男性は 3 月にサウジアラビアを訪問しており、その時に感染した模様です。また、フィリピンでアラブ首長国連邦から帰国した看護師が MERS に感染していることが判明しました。この看護師は帰国直前まで集団感染のあったアブダビの病院で働いていました (ProMED 2014-4-16)。

・ 西アフリカのエボラ出血熱流行は鎮静化

西アフリカのギニアでは今年になりエボラ出血熱の流行が発生していますが、4 月 23 日までに患者数が 218 人 (うち 141 人死亡) に達しました (WHO Global Alert and Response 2014-4-25)。しかし、WHO などによる院内感染対策の強化により、流行は次第に鎮静化しています。患者の発生は西部の森林地帯で多くみられますが、首都のコナクリでも 50 人以上の患者が確認されています。隣国のリベリアでも患者数が 35 人にのぼっていますが、それ以外の国への拡大はみられていません。

今回、ギニアで流行しているエボラ出血熱の原因ウイルスについては、従来から流行しているザイール型と考えられていましたが、最近の調査によれば新型のウイルスであることが判明しました。昨年 12 月頃よりギニアの森林地帯で流行が拡大していた模様です (New England Journal of Medicine 2014-4-16) .

・ 東南アジアでの Dengue 熱の流行状況

東南アジア各地で Dengue 熱の流行が報告されています (WHO Western Pacific Region 2014-4-8)。今年はマレーシアでの患者発生が多く、4 月初旬までに 2 万 3000 人の患者が確認されました。これは昨年同期の 4 倍の数になります。また、シンガポールでも 3000 人以上の患者が発生しており、増加傾向にあり

ます。フィリピンでは 1 万 5000 人の患者数で、このうち 1600 人がマニラ周辺で発生しています (Fit For Travel 2014-4-23)。

・ベトナムでの麻疹の流行

前号で紹介したように今年日本国内で麻疹患者が多発しており、その多くは東南アジアからの輸入例です。とくにフィリピンでの感染例が多くみられますが、ベトナムからの感染例も散発しています (本号「日本国内での輸入感染症の発生状況」参照)。ベトナムでは昨年末より麻疹の流行が発生しており、4 月中旬までに患者数 (疑いを含む) は 1 万人近くに達しています (Fit For Travel 2014-4-24)。このように麻疹は東南アジア全体で流行しており、現地に長期滞在する際には麻疹ワクチンの接種もご検討ください。日本では 20 歳代中頃～30 歳代の世代において麻疹の免疫が弱いとされています。

・ブラジルのサンパウロ州でデング熱患者が増加

ブラジルのサンパウロ州では今年 1 月から 4 月中旬までに 1 万 4000 人のデング熱患者が発生しており、患者数は増加傾向にあります。サンパウロ市内でも 2500 人の患者が確認されています (Fit For Travel 2014-4-23)。ブラジルでは 6 月からワールドカップが開催されますが、この期間中はサンパウロだけでなく日本戦のあるレシフェやナタールでも、デング熱の流行が予測されています。試合観戦で滞在する際には蚊に刺されない対策をとってください。